

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

ア-1. 社会的な人材需要と専攻の理念・制度設計

京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（以下「本専攻」という。）の入学定員は8名とする。

20世紀後半、とりわけここ数十年の間に著しく進展したグローバル化は、各国の経済・社会に根底的な影響を及ぼしてきた。日本においても、経済における対外依存度の上昇や、企業の多国籍化が進展している。内外の労働市場に対して高度人材の供給の責を負う高等教育機関もこうした変化に対応する必要があるが、経済学・経営学の関連領域では、次に述べる2つの面で課題が生じている。

第1は、グローバル化やその下での国際秩序の変容により、①欧米・日本等の既存の先進国とは異なる歴史的背景、価値観、社会原理、経済システム、企業行動を有する国や地域の経済的・政治的な重要性が高まり、また②世界金融危機（2008年）やパンデミック（2020年）、地球環境問題など、短期的な視野では対応することができない構造変化や地球規模の課題が登場していることである。従来、実務に携わる高度人材の養成は、MBA（経営学修士）課程等、各種のビジネススクールによって担われるか、あるいは学部卒の者に対する企業内教育等によることが多かった。しかしビジネススクールの教育課程は、通常は、経営学の理論や分析ツールの普遍性を前提とした上で、それらの学修による経営実務上の問題解決スキルの養成に焦点を置いている。グローバル化の下での課題解決に必要なもう1つのタイプの知識・能力、すなわち、社会や経済のマクロな構造・特質や課題、またグローバル化の下でのそれらの変化を踏まえて問題解決を行う能力や、個々の社会や組織の個性、個別の事象とその背景や意味に関する具体的で人文的知を基盤とする能力については、一般的なビジネススクールでは重視されていない。また、これらの能力を企業・組織内で育成し得る主体も限られている。そのため、社会的需要に応えるためには、グローバル化とその下での地域の変容・主体性それ自体を学修の内容とすることも含め、これらの教育需要に応える課程を新たに設計し提供する必要がある。

第2は、上で述べたような人材育成の目標を実現する上では、カリキュラムの編成や教員、学修の場やその他の環境面でも、グローバル化を前提とした体制が必要という点である。実務家の養成を目指す一般的なビジネススクールや、その他の経済系・経営系の大学院プログラムにおいても、英語による授業提供やカリキュラム全体の英語化を行う課程は日本国内でも増えつつあり、またそれらの多くは海外への交換留学制度を選択肢として備えてはいる。しかし海外での修学を必須とするものは限られ、また連携先教育機関とのカリキュラム上の統合も部分的であるのが一般的である。また学生の構成も、多くの場合、地理的な偏りを免れていない。

本専攻は、「設置の趣旨等を記載した文書」に詳述したように、これらの課題を克服するため、①経済・経営のグローバル化とその下での地域の動態そのものを学修の対象とし、②歴史的な分

析アプローチを国際リーダー人材教育の柱とし、③学修環境、カリキュラム、教員、授与される学位においても国際的かつグローバルな広がりを持つよう設計している。これにより、上述の社会的な人材需要を充足することを目指す。

ア-2. 定員設定の背景

定員を設定するにあたっては、社会的な需要、および、連携して当該専攻の教育を担当する3大学いずれにおいても必要かつ十分な教育研究環境を学生に提供する観点から、以下の点を考慮する。①上述したような社会的需要と、既存専攻の各種プログラムの出願・入学・進路状況を勘案した上で、十分な出願者・入学者・修了者が確保できること、②指導に当たる京都大学と連携外国大学の教員の負担が適正な範囲に保たれること、③教室その他の施設の確保、学生の支援・管理にあたる事務体制の対応能力の点で無理がないこと、④既設専攻の学生の教育や研究指導においても支障を生じないこと、⑤専攻の設計・設立・運営自体が固定的なコストと負担を伴う点から、費用対効果の関係がプラスになるだけの最小限の規模を確保すること、⑥GLOCALプログラム（後述）全体の中で埋没することなく、また採用市場においても専攻として認知を受け、かつ、教育理念・目標の一つである学生の切磋琢磨が実現するための最小限の規模が確保されること。

このうち①から④は定員の過大な設定を、また⑤・⑥は過小な設定を回避するための要素であるが、これらの点につき連携先のグラスゴー大学・バルセロナ大学と十分な協議を行い、入学定員を8名と設定した。これは、3大学に跨る学生の教育・研究において、各大学の教員のきめ細かい指導を実現するために適切な人数である。

なお、8名の内訳としては、国内外の人材需要動向、京都大学での大学院進学状況と進学率向上策、GLOCALの既存プログラムへの各国からの応募・入学状況に基づき、京都大学学部生からの進学者2-3名と国内他大学出身者・社会人1-2名を合わせ日本国内出身者として合計3-4名（37.5%-50%）、海外・外国学校出身者として4-5名（50%-62.5%）を見込んでいる（応募者属性別の入試を行うわけではないため、実際には成績順位による）。

ア-3. 定員充足の見込み

本専攻と共通する教育理念をもち、本専攻の教育コンテンツの基盤となる第1期GLOCALプログラム（グラスゴー大学・バルセロナ大学を含む欧州4大学の国際連携教育プログラム）では、第一期生（2017年入学）として32名が修了、第二期生（2018年入学）が47名在籍しているが、出願者数と定員（45名、うちEU資金によるEACEA奨学生の枠は22名）に対する倍率は、第一期では601名・約13倍、第二期では914名・約20倍であり、出願者の出身国は第一期生・第二期生ともに80カ国以上に跨っている。これらの出願者の多くは他のエラスムス・ムンドゥス共同学位プログラムへの併願者と推測され、EACEA奨学金の受給を条件とした出願も多いことから、この数字は必ずしも無条件的な入学希望者を示したものではないが、第二期生以降は定員を充足するだけの入学者を確保できており、十分な数の志願者が存在することが確認される。なお入学者の出身国分布は、第一期生（2019年夏修了）では25カ国（欧州11カ国、アジア7カ国、南北アメリカ5カ国、アフリカ2カ国）、また第二期生（2020年夏修了予定）では21カ

国（欧州9カ国，アジア8カ国，南北アメリカ4カ国）となっている。このことから，連携外国大学の所在国（欧州）のみならず，国際的に広く学生を惹きつけるプログラムであると考えられる。

なお，2019年10月～2020年1月に実施した2020年9月入学の第四期生（7大学に拡大後の第2期GLOCALとしては第一期生）募集において新規に追加された，京都大学での3か月研修を含むスタディトラックD（専攻発足後と同様に定員8名）には，93名の志願者があった。この募集年度におけるスタディトラックDは本学からの学位授与を伴わず，グラスゴー大学，バルセロナ大学による2大学ジョイント・ディグリーを授与する課程であるが，それにもかかわらず，既に高い関心が寄せられていることが見て取れる。

以上は，これまで知名度の低さもあって日本からの出願が非常に限られていたと考えられる，既存のGLOCALプログラムに対する応募状況であるが，日本の大学に在籍する学部学生や内外の大学に在籍する日本人学生間においても，本専攻の設置と日本語での広報によって，理解と関心が高まると期待される。設置準備のため京都大学の在籍生を対象に経済学研究科が実施した後述のアンケート結果では，海外大学との連携による国際的大学院プログラムに興味があると回答した学部生も多いことから，国内にも上記定員に対する志願者は十分な規模があると考えられる。

また，企業に対して行なった後述の調査では，本専攻で育成した人材に魅力を感じる企業が59.4%（38/64社，母数は回答数）あるという結果も得ており，我が国において社会からも十分なニーズがあると考えられる。

これらの理由から，本専攻新設による定員増加を考慮しても，充足に十分な数の志願者が見込める。

なお，京都大学と連携外国大学において学生を選考し，相互に交換する方式では，それぞれから参加する学生数に偏りが生じる可能性があるが，本専攻は京都大学と連携外国大学が選考を一本化し，決まった順序で各大学を移動して学修する方式であるため，学生数に偏りが生じることはない。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

イ-1. 京都大学経済学部在籍生

本専攻への関心度を調査するにあたり，本専攻の入学対象となり得る京都大学経済学部1～4年次の学士課程学生を対象としてアンケート調査を実施した（参考資料1）。アンケート調査対象者は1,085名で，このうち回答者数は190名であった（回答率17.5%）。

アンケート調査結果から，「GLOCALプログラム（国際修士プログラム）にどの程度関心がありますか」の問いに対し，同設問に回答した者（120名）の25.0%にあたる30名が「とても関心がある」と回答し，「関心がある」と回答した回答者数と合わせると57.5%にあたる69名が本プログラムに興味を示していることが確認された。また，「京都大学が含まれるスタディトラックにどの程度関心がありますか」の問いに対しては，同設問に回答した者（111名）の49.6%にあたる55名が「とても関心がある」もしくは「関心がある」と回答した。なお，ここでは「進学する意思がありますか」のような表現で質問した方がより強い根拠が得られるところだが，「設置認可申請準備中の学生募集類似行為ではないか」との疑念が生じる余地をなくすために，「関

心がありますか」の表現で質問した。仮に「進学する意思がありますか」の表現で質問した場合には「とてもある」「ある」の回答は本アンケートの結果（69名）よりもいくぶん小さくなるものと推量されるが、後述するア-2で述べた本学学部生の進学の期待値（2-3名）を上回ることは、十分に合理的な期待の範囲内にあると考える。

イ-2. 京都大学大学院経済学研究科在籍生

京都大学経済学研究科では、2009年から英語を共通言語とした秋入学の大学院修士課程プログラム「東アジア持続的経済発展研究コース」を設けている。同コースの在籍学生は、経済学・歴史学に類する分野を専門としている、英語プログラムに属する学生である、などの点において、想定される本専攻の志願者と志向性が近いと推察されるため、同コースの在籍学生を対象としてアンケート調査を実施した（参考資料2）。アンケート調査対象者は26名で、このうち回答者数は18名であった（回答率69.2%）。

アンケート調査結果から、「もし修士課程進学の際に GLOCAL プログラムへ進学する選択肢があったら、応募を検討していましたか。」の問いに対し、回答者（18名）のうち、1名が「していた」、10名が「おそらくしていた」と回答し、合計で61.1%にあたる11名が本プログラムに関心を示したことがわかった。また、「もし修士課程進学の際に GLOCAL プログラムへ進学する選択肢があったら、京都大学を含むスタディトラックの選択を検討していましたか。」の問いに対し、同設問の回答者（14名）の全てが「していた」あるいは「おそらくしていた」と回答した。このように、同じ英語プログラムである東アジア持続的経済発展研究コース在籍生から、京都あるいは京都大学での学修や本学を含む修士学位といった点を理由として、GLOCAL プログラムや本専攻への応募が可能であれば検討していた、との声が多くあることから、本専攻への関心の高さが窺えた。

イ-3. GLOCAL プログラム在籍生

本専攻は GLOCAL プログラムの枠組みに新規に参加し、グラスゴー大学、バルセロナ大学、京都大学の3大学からなる「スタディトラック D」をジョイント・ディグリー・プログラムとして設置する計画であることから、京都での学修に対する関心と動向の把握を目的として、既存 GLOCAL プログラム在籍生を対象にアンケート調査を実施した（参考資料3）。アンケート調査対象者は79名で、このうち回答者数は17名であった（回答率21.5%）。

アンケート調査結果から、「もし京都大学が GLOCAL プログラムの連携大学だった場合、京都大学が含まれるスタディトラックの選択を検討していましたか。」の問いに対し、回答者数17名のうち15名（88.2%）の学生が、「はい（していた）」と回答し、京都大学を含む経路の特性に関心が寄せられていることが示される結果となった。

ウ 学生納付金の設定の考え方

本専攻入学者は、申請や入学手続き等を GLOCAL プログラムの方法に則って行う。GLOCAL プログラムでは、スタディトラックの別にかかわらず統一された授業料を調整担当大学（グラスゴー大学）を通じて納入することとし、各大学では学費を不徴収とする。授業料の金額は EU 出

身者には基本額が、日本を含めそれ以外の国・地域出身者には割増額が適用されるが、日本出身者のうち入学選考での成績上位者3名（スタディトラックを問わず適用される）については、EU出身者と同額の基本額が適用される。納付された授業料は、京都大学・グラスゴー大学・バルセロナ大学を含む GLOCAL プログラムの教育を担当する全大学に、教育負担等に準じた所定の比率により配分される。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本専攻の入学受入れの方針に適う学生を確保するため、次の事項を中心に取り組む。

ア すでに実施している事項

- i. 本専攻への出願・進学者の母集団の一つとなり得る京都大学の学士課程学生に対して、教育国際化の取り組みを行なっている。学部の2-4年次生を対象に、英語による演習的な講義「東アジア経済論ワークショップ」を以前より実施している。また1-3年次の学生を主な対象に、国際社会への理解を深めつつ留学を準備し、また本専攻を含め各種の国際的な大学院修士学位プログラムへの進学準備を行うための英語による科目「Global Economy and Overseas Exchange Seminar」の提供を令和2年度より実施している。
- ii. 同じく京都大学における教育国際化の取り組みとして、学部学生・大学院学生を対象とした海外大学等への交換留学や短期・中期の各種派遣事業を実施、他にも交流協定校を中心とした海外大学の教員を講師に迎えた集中講義を年間6~8科目程度提供することで、各種の英語科目の受講や英語による発表・ディスカッションの機会を提供している。
- iii. 同様に、学士および修士課程学生を対象に、IELTS やプレゼンテーションスキルに関する英語ブラッシュアップ講座を開催するなど、海外留学準備段階の実践的支援事業を展開している。
- iv. 経済学研究科への国外からの出願・入学希望者の拡大を目的として、教員の在外研修や研究調査実施の支援（スーパーグローバル事業等による）、GLOCAL サマースクールをはじめ連携外国大学等への京都大学教員の派遣・出張講義等の機会を用いて対外的周知活動を行っている。そこでは、既存の英語による学位プログラムやグラスゴー大学との博士課程ダブル・ディグリー・プログラムなど、本研究科が取り組む国際プログラムについて周知・情報提供を行うことにより、学生の関心や本学への進学意欲の喚起に務めている。

イ 今後強化する事項

- v. 本専攻および GLOCAL プログラムのウェブサイトなど、3大学及び GLOCAL コンソーシアムの協力の下、ウェブサイトやパンフレット等の媒体を中心として、本専攻の人材養成目的、取得できる学位、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）、教育研究の内容・方法、入学試験、指導教員、学生の学修の成果、修了後の進路、授業料、経済的支援、といった本専攻の特色について広く周知を図る。
- vi. 京都大学在学者に限らず学士課程の学生一般を対象とする専攻説明会を開催し、本専攻に関する具体的な説明と質疑応答を通じて、きめ細かな情報提供を行うと同時に、本専攻の教

育研究対象である経営史・経済学・経営学に関連する学問分野の教員・学生のネットワークを活用して学内外問わず周知・広報を行い、入学者受入れの方針に適う志願者を確保する。

- vii. 人材供給先となる企業その他に対しても、同窓会組織による企画等を利用して本専攻に関する周知を図り、学生の出願動機の上を目指す。

今後も、本専攻単独ではなく、経済学部・研究科で取り組んでいる他のプロジェクトなどとも協力し海外での学修に対する学生の意欲・能力の向上を図り、京都大学の学士課程において、いっそうの教育の国際化を推し進める。

2. 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（養成する人材像の概要）

- i) 歴史的素養と経済学的知識の双方を有する人材

本専攻では、アドミッション・ポリシーの基準を充たす学力・論文作成力を前提に、歴史学系の授業と経済学系の授業の双方を提供する。冒頭の「ア-1. 社会的な人材需要と専攻の理念・制度設計」で述べた人材需要の状況に対応するため、本専攻の教育課程は以下の点を特徴とする。①長期的視点、段階・構造・複合的变化を重視し、②個々の事象や社会的構造の「実在の根拠」（なぜそれがそのようなものとして存在するのか）への関心を一般的な分析能力につなげ、③市場的・経済的現象に限定せず社会的・政治的・文化的文脈も考慮する。本専攻では、歴史的な思考と知識によって社会と組織を理解するとともに、経済学的な知識をも駆使して、短期的視点や狭隘な価値基準に捉われずに問題解決を行う能力を持つ人材を養成する。

- ii) 国際性とリーダーシップを有する人材

本専攻では、修士課程2年間のうち1年間を京都大学で、半年ずつ計1年間をグラスゴー大学およびバルセロナ大学で学ぶ。必修科目・サマースクール・修士論文ワークショップでの研究発表、国籍や文化的背景を異にする極めて多様な学生たちとの討論や共同作業という知的鍛錬により、互いの文化的差異を理解したうえで意思疎通を図ることができると同時に、国際性の高い集団・組織においてもリーダーシップを発揮できる人材を養成する。

- iii) 分析的で批判的な思考力を有する人材

専門性の高い提供授業における討議や修士論文の執筆を通じて、社会や組織が直面する既存の問題に対してその原因を探るべく分析的な思考ができると同時に、当然視される価値観や通説に対して批判的な視点から検討を加え、新たな知見を導出することのできる批判的な思考力を有する人材を養成する。

- iv) 学術的・実践的英語力を有する人材

全ての提供授業を英語で実施し、専門的内容についての課題も英語により課すほか、英語によるワークショップへの参加、英語修士論文の作成指導などを通じて、英語を学術的かつ実践的に活用できる人材を養成する。

v) 社会的責任と研究倫理について理解・実行できる人材

提供される授業や指導教員によるきめ細かな指導を通じて、自身にかかる社会的責任の重要性および研究倫理について深い理解と遵守精神を養い、修了後を含めた自身の行動に反映できる人材を養成する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本専攻の構想に関する産業界の意見を把握するために、日本国内に立地する企業に対してアンケート調査を行った(参考資料4)。まず、本専攻のインターンシップ先あるいは課程修了後の進路に関係し得る業種(グローバル展開をおこなう多国籍企業)を中心に、268社に対して2019年8月にアンケート調査票を郵送した。また、これと並行して本研究科教員が対面等によりのべ12社に対してアンケートを依頼し、10月中旬までに郵送・FAX・オンラインフォーム等を通じ計68社から回答を得た。

その結果、本専攻の理念やカリキュラムについて、「評価できる。」との回答は57.8%、「ある程度評価できる。」との回答も含めると73.4%(47/64社)と、7割以上の企業から肯定的評価が得られた。

また、海外を含め3大学で学ぶことについて「評価できる。」「ある程度評価できる。」とする回答の合計は80.0%であり、本専攻の特徴として評価できる点はどこか、との質問に対して「学生・人材が世界から集まること」、「日本・海外の3大学が共同で学生を教育し共同で修士号を授与すること」など、特に本専攻の国際性について肯定的評価が得られた。

学生に対して企業側が重要視する素養に関する設問においては、「社会的責任と研究倫理の自覚」「批判的な思考と分析力」「国際性とリーダーシップ」といった項目を重要視しているとの回答が得られた。

また本専攻を修了した学生に対する採用の可能性についても、回答を得た64社のうち、「積極的に採用したい。」との回答が38社(59.4%)から得られた。その業種別内訳は、製造業(11社)、金融・証券業(6社)、コンサルティング業(5社)、流通業(4社)、保険業、商社、マスコミ(各2社)、システム開発、教育・学習支援業、不動産業、建設業、経済団体、公務(各1社)であり、広い業種にわたっている。自由記述においても、「引きこもりがちな日本にあって、世界に羽ばたく人材の育成を期待する」、「高い研究レベルを複数大学で学べることで、知見を大きく広げることができる」等、本専攻で養成を目指す人材像への期待を示す内容や建設的な意見が多く得られ、こうした意見は、本専攻において養成が期待される人物像と社会的・地域的需要が一致していることを示すものである。

以上のことから、本専攻の理念、人材養成の目的、特徴等は、産業界における人材需要の動向に合致しており、その要請に応じていけるものと考えられる。

学生（京都大学経済学部学生）へのアンケート調査結果

1. 調査の趣旨

本専攻への参加候補者となり得る京都大学学士課程の学生の意向を把握するため、2019年7月から9月にかけて、本学においてアンケート調査を行った。

2. 調査の対象及び回答数

京都大学経済学部の在学学生1～4年次（1,085名）を対象として、190名より回答を得た（回答率17.5%）。

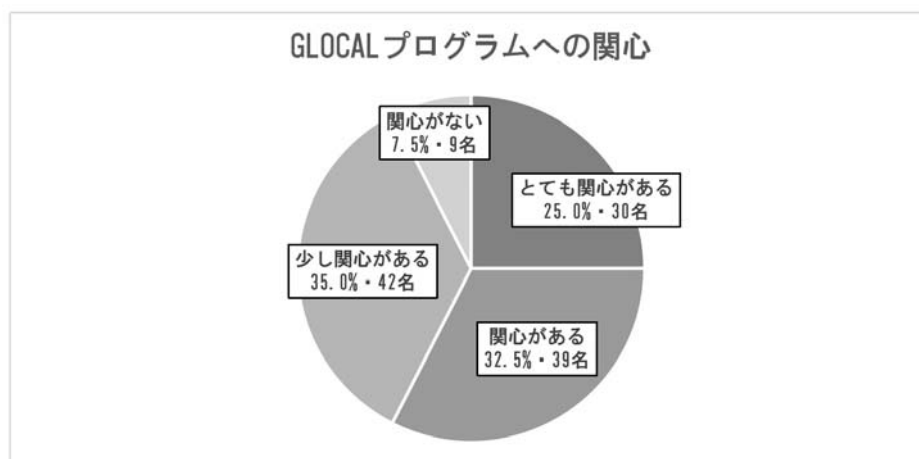
3. 調査の内容及び方法

本専攻の構想の概要を説明したうえで設問を記載した調査票（参考資料1）を用いて、書面またはオンラインフォームにより配布・回収した。

4. 調査結果

主要な設問について、回答データを示す。

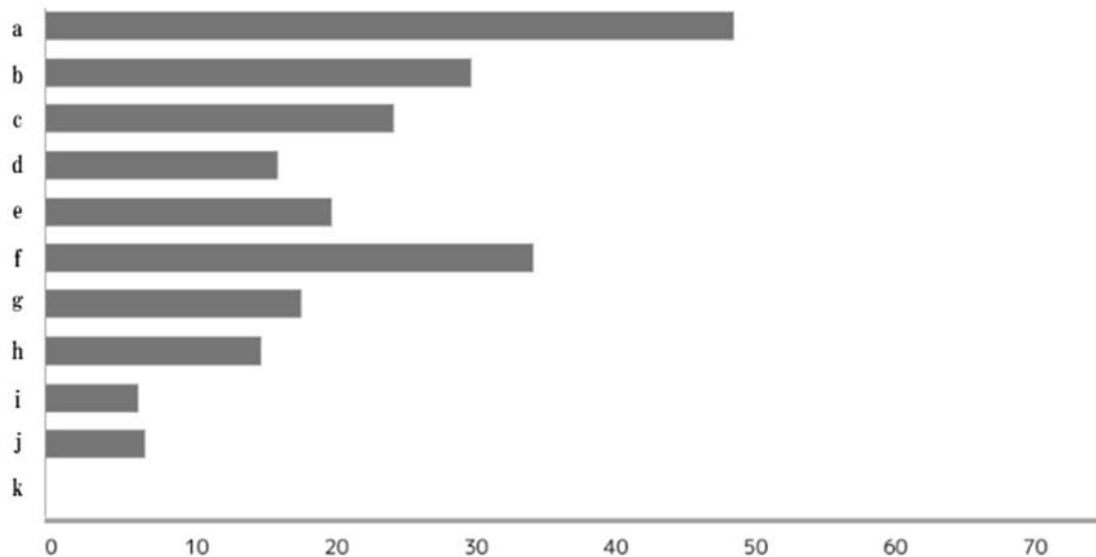
- ・ GLOCALプログラムにどの程度関心がありますか。



（参考資料1の設問6，設問回答者の母数120名）

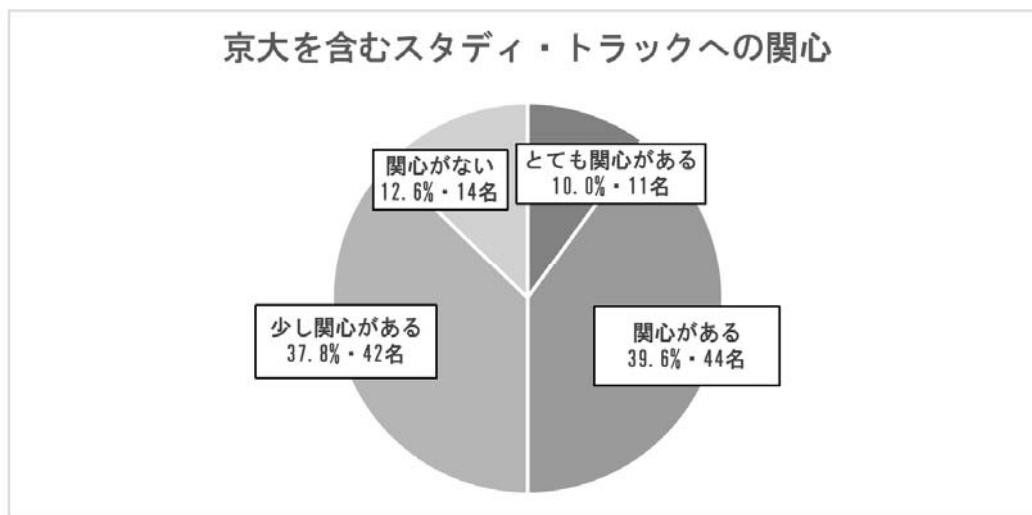
・関心がある理由を以下から選んでください（複数回答可）。

- a: 外国語の能力や国際性を磨きたいから (89票/46.8%)
- b: グローバルな環境で様々な国籍のクラスメイトと切磋琢磨しながら勉強できるから (55票/28.9%)
- c: 国際的な仕事をしたいから (45票/23.7%)
- d: 就職に有利だから (30票/15.8%)
- e: プログラムの内容に関心があるから (37票/19.5%)
- f: 複数の国・大学で学べるから (63票/33.2%)
- g: 海外の有力大学（グラスゴー大学、バルセロナ大学）、および京都大学の3つの大学から学位が出るから (33票/17.4%)
- h: 2年間で3大学の学位を取得できるから (28票/14.7%)
- i: 海外の一般的な修士プログラムよりも学費が安価だから (12票/6.3%)
- j: 奨学金制度があるから (13票/6.8%)
- k: その他 (0票/0%)



(参考資料 1 の設問 7, 設問回答者の母数 111 名)

・京大が含まれるスタディ・トラックにどの程度関心がありますか。



(参考資料 1 の設問 8, 設問回答者の母数 111 名)

・関心がある理由を以下から選んでください（複数回答可）。

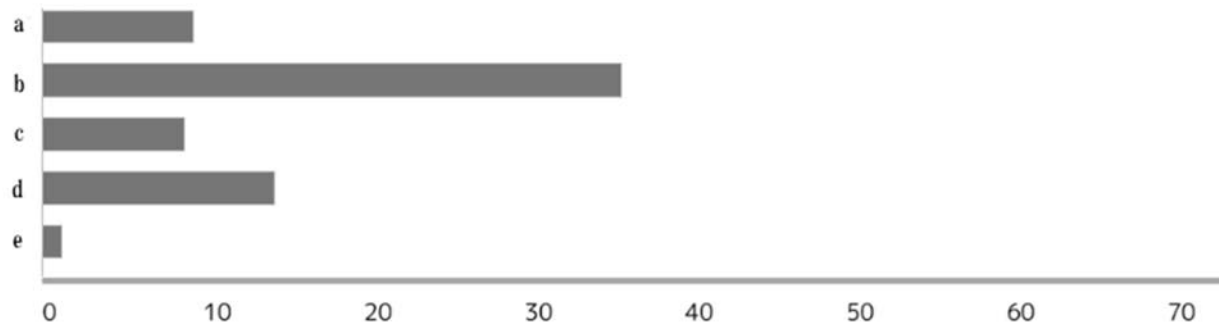
a : 他のトラックに比べて、京都大学で提供される授業が自分の興味に合致しているから (17票/8.9%)

b : 2年間のうち半分（1年間）は日本（京都大学）で勉強できるから (65票/34.2%)

c : 京都大学が入っていた方が就職に有利だから (16票/8.4%)

d : 修了後は日本または日系企業で働きたいから (26票/13.7%)

e : その他 (2票/1.1%)



(参考資料 1 の設問 9, 設問回答者の母数 97 名)

GLOCAL・京都大学学部生対象アンケート

「海外留学・海外進学に関するアンケート」

回答日： 年 月 日

経済学研究科では、社会科学的な分析力や歴史的な素養を兼ね備えた国際的ビジネスパーソンの養成を目的に、新専攻「京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻」の開設を計画しています。本専攻では、海外の有力大学と共同で英語による国際修士プログラム（GLOCAL プログラム）を提供します。

本プログラムの特徴のひとつは、3大学が共同で学位を授与する「ジョイント・ディグリー（JD）」プログラムであることです。入学した学生はイギリスのグラスゴー大学（半年）、スペインのバルセロナ大学（半年）、京都大学（1年）の3大学で合計2年間学び、3つの大学による共同学位（修士/International Master）を授与されます。

この計画を推進するにあたり、経済学部の方を対としたアンケートを実施いたします。ご協力をお願いします。

学年（ ）回生

性別（ ）

入試区分：

- (1) 一般入試 文系 (2) 一般入試 理系 (3) 特色（旧論文）入試
(4) 外国学校特別選抜 (5) 留学生特別選抜

1. 現在考えている大学卒業後の進路を教えてください。

- a. 大学院進学 →3 番へ
b. 就職 →2 番へ
c. 未定 →3 番へ
d. その他（ ）→3 番へ

2. [1 で b を選択した人] 希望する就職先を教えてください（複数回答可）。

- a. 企業（国内で働く）
b. 企業（海外で働く）
c. 官公庁
d. 国際機関
e. NGO（国内・海外含む）
f. その他（ ）

→ 回答後 3 番に進んでください。

3. 大学在学中または卒業後の留学にどの程度関心がありますか。
- とても関心がある
 - 関心がある
 - 少し関心がある
 - 関心がない
4. あなたは海外で修士の学位を取得することにどの程度関心がありますか。
- とても関心がある →5 番へ
 - 関心がある →5 番へ
 - 少し関心がある →5 番へ
 - 関心がない → (これで回答は終了です, ありがとうございました)
5. [4 で a~c を選んだ人] 関心がある理由を以下から選んでください (複数回答可)。
- 外国語の能力や国際性を磨きたいから
 - 国際的な仕事をしたいから
 - 海外の大学院の方が自分の研究・専門・興味に合致しているから
 - 海外で専門的な知識を身につけたいから
 - その他 ()
- 回答後 6 番に進んでください。
6. GLOCAL プログラム (国際修士プログラム) にどの程度関心がありますか。
- とても関心がある →7 番へ
 - 関心がある →7 番へ
 - 少し関心がある →7 番へ
 - 関心がない →10 番へ
7. [6 で a~c を選んだ人] 関心がある理由を以下から選んでください (複数回答可)。
- 外国語の能力や国際性を磨きたいから
 - グローバルな環境で様々な国籍のクラスメイトと切磋琢磨しながら勉強できるから
 - 国際的な仕事をしたいから
 - 就職に有利だから
 - プログラムの内容に関心があるから
 - 複数の国・大学で学べるから
 - 海外の有力大学 (グラスゴー大学、バルセロナ大学)、および京都大学の 3 つの大学から学位が出るから
 - 2 年間で 3 大学の学位を取得できるから
 - 海外の一般的な修士プログラムよりも学費が安価だから
 - 奨学金制度があるから
 - その他 ()
- 回答後 8 番に進んでください。

8. [6でa～cを選んだ人] 京都大学が含まれるスタディ・トラックにどの程度関心がありますか。
- a. とても関心がある →9番へ
 - b. 関心がある →9番へ
 - c. 少し関心がある →9番へ
 - d. 関心がない →10番へ

9. [8でa～cを選んだ人] 関心がある理由を以下から選んでください（複数回答可）。
- a. 他のトラックに比べて、京都大学で提供される授業が自分の興味に合致しているから
 - b. 2年間のうち半分（1年間）は日本（京都大学）で勉強できるから
 - c. 京都大学が入っていた方が就職に有利だから
 - d. 修了後は日本または日系企業で働きたいから
 - e. その他（ ）
- 回答後 11 番に進んでください。

10. [6および8でdを選んだ人] 関心がない理由を以下から選んでください（複数回答可）。
- a. 他の国・大学に留学したいから
 - b. 将来の希望職種と合わないから
 - c. 留学中の学費や生活費に不安があるから
 - d. その他（ ）
- 回答後 11 番に進んでください。

11. GLOCAL プログラム（国際修士プログラム）全般に対しての疑問や質問、また京都大学を含むスタディ・トラックに対する要望、期待する点などがあれば記述してください。

()

アンケートは以上です、ご協力ありがとうございました。

京都大学経済学研究科

学生（京都大学大学院経済学研究科在籍生）へのアンケート調査結果

1. 調査の趣旨

本専攻の構想と共通項が多いと考えられる京都大学の東アジア持続的経済発展研究コースの在籍生から意見を収集するため、2019年7月に、当該コース在籍生を対象にアンケート調査を行った。

2. 調査の対象及び回答数

同コースの在籍学生(修士1・2年次)26名を対象として、18名より回答を得た(回答率69.2%)。

3. 調査の内容及び方法

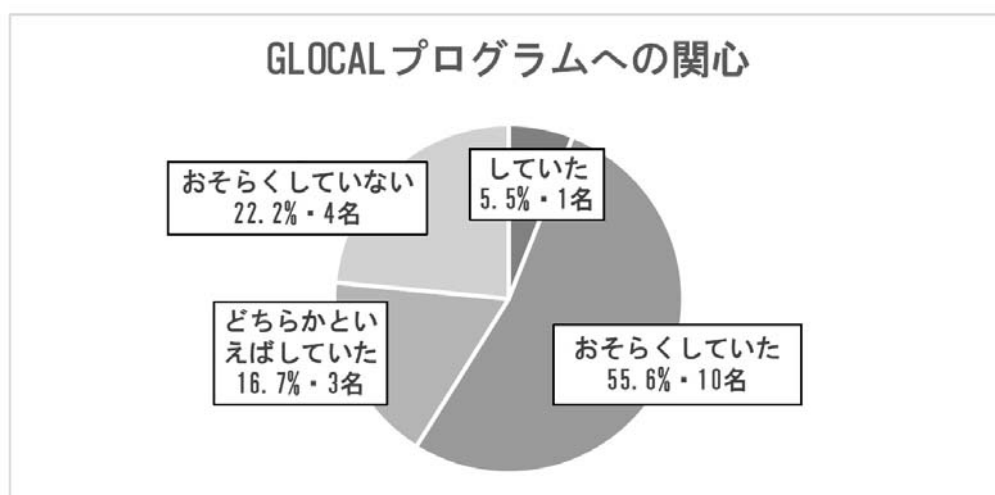
本専攻の構想の概要を説明したうえで設問を記載した調査票(参考資料2)を用いて、オンラインフォームにより配布・回収した。なお、調査票はすべて英語であるため、下記の調査結果には適宜日本語訳を添えている。

4. 調査結果

主要な設問について、回答データを示す。

- ・もし修士課程進学の際に GLOCAL プログラムへ進学する選択肢があったら、応募を検討していましたか。

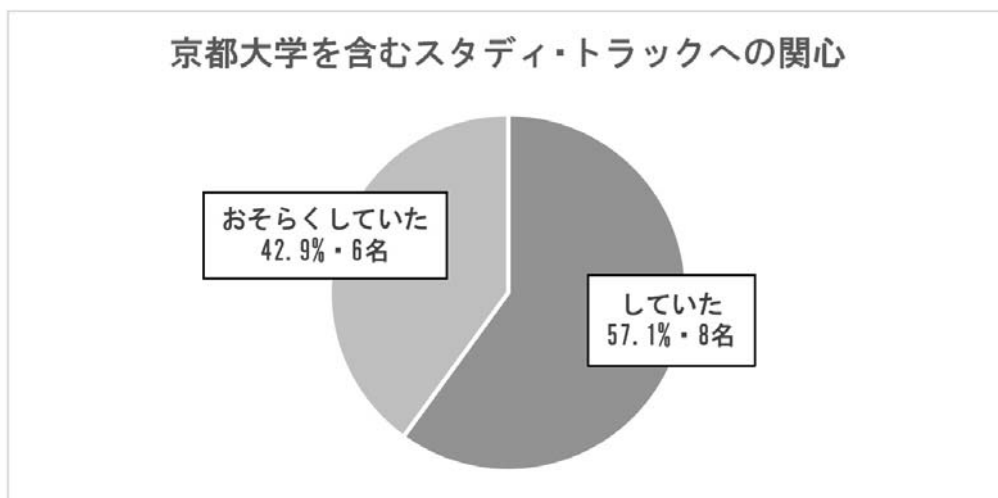
【原文】 If you were applying for MA programmes, would you consider applying for the GLOCAL programme?



(参考資料2の設問1、設問回答者の母数18名、『していない』の選択者0名)

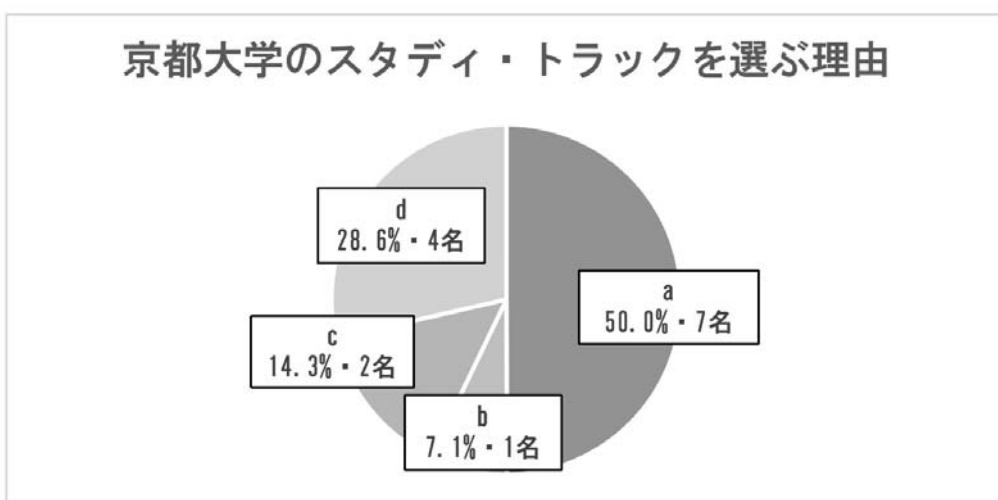
- ・もし修士課程進学の際に GLOCAL プログラムへ進学する選択肢があったら、京都大学を含むスタディ・トラックの選択を検討していましたか。

【原文】 Would you select a study track that includes Kyoto University?



(参考資料 2 の設問 4, 設問回答者の母数 14 名, 『どちらかといえばしていた』『おそらくしていない』『していない』の選択者 0 名)

- ・その理由を以下から選んでください。
 - a.日本/京都で学ぶことが魅力的だから。Studying in Japan/Kyoto is appealing.
 - b.卒業後は日本/京都で働きたいから。I want to work in Japan/Kyoto after graduation.
 - c.京都大学を含む課程が自分の研究と研究上の興味に合致していると思ったから。The courses offered at Kyoto University would fit my research and academic interests.
 - d.グラスゴー大学・バルセロナ大学・京都大学から修士号が得られるから。I can receive master's degree from University of Glasgow, University of Barcelona, and Kyoto University.



(参考資料 2 の設問 5, 設問回答者の母数 14 名)

GLOCAL Questionnaires for EA Course Students

Year of enrollment on EA programme ()

1.If you were applying for MA programmes, would you consider applying for the GLOCAL programme?

- a. Definitely yes
- b. Most likely yes
- c. Maybe
- d. Maybe not
- e. Definitely no

2.The GLOCAL program provides financial support to selected students. Would you apply for GLOCAL if you received a fellowship covering tuition and living expenses?

- a. Definitely yes → go to 3 and 4
- b. Most likely yes → go to 3 and 4
- c. Maybe → go to 3 and 4
- d. Maybe not → go to 7
- e. Definitely no → go to 7

3.Why would you want to apply for GLOCAL?

- a. I want to study at multiple universities in different countries.
- b. The program suits my academic interests.
- c. I want to improve my language skills, particularly English.
- d. The program would help me find a job.
- e. It is less expensive than studying at other universities.
- f. There is a chance to receive financial support.
- g. I can receive master's degree from multiple universities in two years.
- h. Others ()

4.Would you select a study track that includes Kyoto University?

- a. Definitely yes → go to 5
- b. Most likely yes → go to 5
- c. Maybe → go to 5
- d. Maybe not → go to 6
- e. Definitely no → go to 6

5. Why would you select a study track with Kyoto?
- a. Studying in Japan/Kyoto is appealing.
 - b. I want to work in Japan/Kyoto after graduation.
 - c. The courses offered at Kyoto University would fit my research and academic interests.
 - d. I can receive master's degree from University of Glasgow, University of Barcelona, and Kyoto University.
 - e. Others ()

6. Why would you not select a study track with Kyoto?
- a. I want to study solely in Europe.
 - b. I want to work in Europe after graduation.
 - c. The courses offered at Kyoto University would not fit my research and academic interests.
 - d. The courses offered at other universities would fit my research and academic interests better.
 - e. Others ()

7. (If you answered "no" for Question 2) Why do you not want to apply for GLOCAL?
- a. I do not want to study at multiple universities.
 - b. The program does not suit my academic interests.
 - c. I am concerned about financial issues.
 - d. Others ()

8. If you have any thoughts on GLOCAL, please let us know.

()

Current Experience in the EA Programme

9. Why did you decide to study on the EA Programme? (You may select multiple answers)
- a. I wanted to study in Kyoto.
 - b. I wanted to study in Japan.
 - c. Kyoto is a center of creative industries.
 - d. Kyoto has a unique economic strength with both traditional craft industries and modern high-tech industries.
 - e. I wanted to study at the Graduate School of Economics (GSE) at Kyoto University.
 - f. The EA Programme matches my academic interests.

- g. I wanted to study with a specific professor at the GSE, Kyoto.
- h. I want to work in Japan after graduation.
- i. Others ()

10. What were your main concerns before you moved to Japan? (You may select multiple answers)

- a. Language (I can't speak Japanese.)
- b. Academic issues
 - i. I wasn't sure if I could keep up with the academic program at the GSE.
 - ii. I wasn't sure if I would be able to establish good relationships with my prospective supervisor.
 - iii. Others ()
- c. Accommodation
- d. Financial issues
- e. Social and cultural issues, such as religion and food
- f. Others ()

11. What are your current main concerns? (You may select multiple answers)

- a. Language (I can't speak Japanese.)
- b. Academic issues
 - i. I am not sure if I can keep up with the academic program at the GSE.
 - ii. Supervision related issues
 - iii. Others ()
- c. Accommodation
- d. Financial issues
- e. Social and cultural issues, such as religion and food
- f. Others ()

Career Plan

12. Are you planning to continue your academic study as a doctoral student?

- a. Yes
 - i. Directly after graduation → go to 13
 - ii. At some point in the future → go to 13
- b. No → go to 14

13. Are you planning to continue studying on the EA Programme or apply for another university in Japan or abroad?

- a. Continue studying on the EA Programme
- b. Applying for another university in Japan
- c. Applying for another university outside Japan

14. Are you planning to (do you want to) work in Japan after graduation (either after master or PhD programme)?

- a. Yes → go to 15
- b. Maybe → go to 15
- c. No → go to 16

15. Why do you want to work in Japan? (You may select multiple answers)

- a. I like living in Japan.
- b. I can utilize my skills (language, knowledge, etc.) better in Japan than in other countries.
- c. I am interested in a specific company/sector in Japan.
- d. I can enjoy better living standards, including better salary, in Japan than other places.
- e. I have family in Japan.
- f. Others ()

16. Why do you not want to work in Japan? (You may select multiple answers)

- a. I want to live outside Japan.
- b. I cannot utilize my skills (language, knowledge, etc.) fully in Japan.
- c. I cannot speak Japanese.
- d. I want to go back to my original country.
- e. I have to go back to my home country due to my scholarship or some other reasons (why:)
- f. Others ()

17. What specific job (position; occupation) do you want to do after graduation, and in which sector or industry do you want to work?

()

18. If you are currently on the job market, what are the major difficulties and challenges you are facing? (You may select multiple answers)

- a. Language (I can't speak Japanese.)
- b. My graduate study (field of study) does not match what a company is looking for.
- c. Social and cultural issues, such as religion and food
- d. Not experiencing any particular difficulties
- e. Others ()

学生（既存 GLOCAL プログラム在籍生）へのアンケート調査結果

1. 調査の趣旨

京都大学を含むスタディトラックへの関心、動向を把握するため、2019年8月から9月にかけて、当該在籍生を対象にアンケート調査を行った。

2. 調査の対象及び回答数

既存 GLOCAL プログラムの在籍学生（修士1・2年次）79名を対象として、17名より回答を得た（回答率21.5%）。

3. 調査の内容及び方法

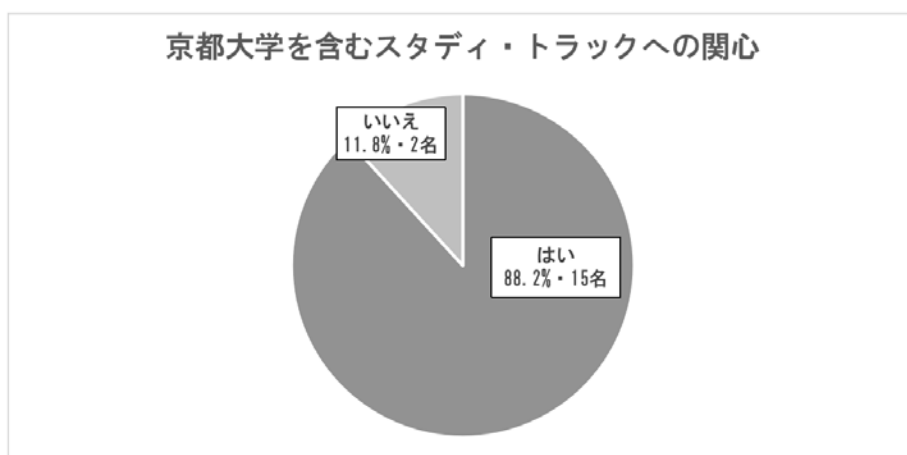
本専攻の構想の概要を説明したうえで設問を記載した調査票（参考資料3）を用いて、オンラインフォームにより配布・回収した。なお、調査票はすべて英語であるため、下記の調査結果には適宜日本語訳を添えている。

4. 調査結果

主要な設問について、回答データを示す。

- ・もし京都大学が GLOCAL プログラムの連携大学だった場合、京都大学が含まれるスタディ・トラックの選択を検討していましたか。

【原文】 If Kyoto University became one of the GLOCAL member universities, would you consider selecting the study track which includes Kyoto University?

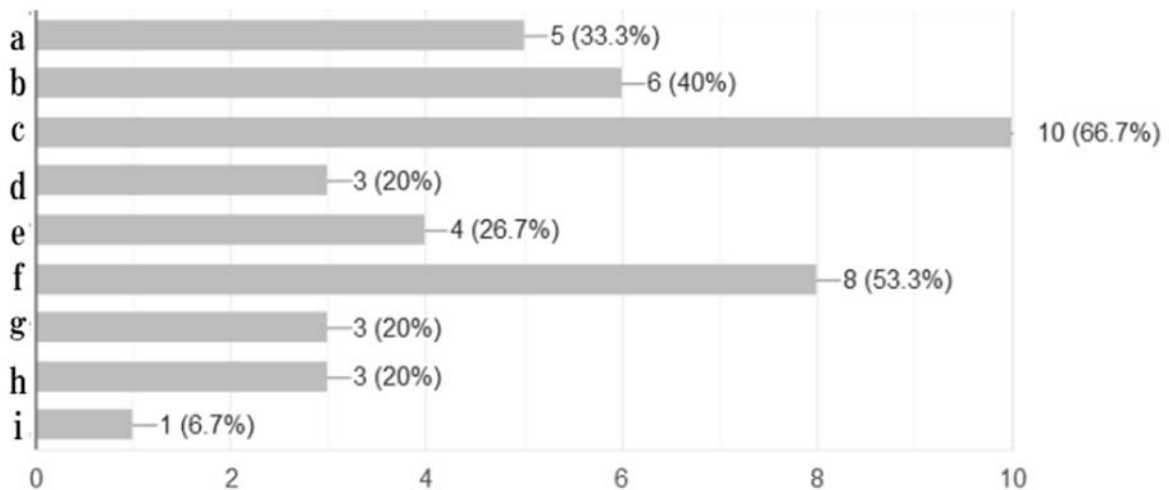


（参考資料3の設問7、設問回答者の母数17名）

・なぜ京都大学が含まれるスタディ・トラックを選択していたと考えるのか、その理由を以下から選んでください（複数回答可）。

【原文】 Why would you select the study track with Kyoto? (You may select multiple answers.)

- a. 京都大学が自分の研究上の興味に合致していると思ったから。 I feel that Kyoto University would fit my research interests.
- b. ヨーロッパ以外で学びたかったから。 I want to study outside Europe.
- c. 日本/東アジアで学びたかったから。 I want to study in Japan/East Asia.
- d. 京都で学びたかったから。 I want to study in Kyoto.
- e. 京都がクリエイティブ産業の中心だから。 Kyoto is a center of the creative industries.
- f. 京都が伝統的なものづくり産業と現代的なハイテク産業において独自の経済的な強みを持っているから。 Kyoto has a unique economic strength with both traditional craft industries and modern high-tech industries.
- g. 卒業後はヨーロッパの外で働きたいから。 I want to work outside Europe after graduation.
- h. 卒業後は日本で働きたいから。 I want to work in Japan after graduation.
- i. その他 Others



(参考資料 3 の設問 8, 設問回答者の母数 15 名)

QUESTIONNAIRES FOR GLOCAL STUDENTS

Research Area/Field:

Economics/Accounting/History/Management/Sociology/Political Science/Other ()

Study track:

Göttingen / Rotterdam

Year of enrollment on GLOCAL programme

()

Fellowship/Scholarship Status (please circle):

Recipient of EACEA Fellowship

Recipient of Other Scholarship (Name of funding source:)

Self-funded/No Scholarship

1. Why did you apply for GLOCAL? (You may select multiple answers)

- a. I wanted to study at multiple universities in different countries.
- b. I can receive degrees from three universities.
- c. The program seemed suit my academic interests.
- d. I wanted to improve my language skill.
- e. There was/were professors I wanted to work with.
- f. Others ()

2. Did you apply for other graduate programmes?

- a. Yes → go to 3
- b. No → go to 4

3. Why did you choose GLOCAL? (You may select multiple answers)

- a. Its courses and related themes suited my interests more than others MAs.
- b. Tuition and living expenses would be less expensive than others.
- c. I have been awarded a fellowship.
- d. I wanted to study at multiple universities.
- e. I wanted to study in multiple countries.
- f. I wanted to work with specific professor(s) at a GLOCAL member university.
- g. Others ()

4. Why did you choose your study track? (You may select multiple answers)
- a. The courses offered at the university I selected would fit my research and academic interests.
 - b. The specific country/region on my track was attractive.
(Why: _____)
 - c. I wanted to work in the country/region where the university is located after graduation.
 - d. I wanted to study with a specific professor on my study track
 - e. Others (_____)

5. Are you satisfied with your current study track?

- a. Very satisfied → go to 6
- b. Mostly satisfied → go to 6
- c. Less satisfied → go to 7
- d. Not satisfied → go to 7

6. Why are you very or mostly satisfied with your study track? (You may select multiple answers)

- a. The courses offered at the university fit my academic interests well.
- b. Professors help me advance my study and research.
- c. Professors and the courses offered are intellectually stimulating.
- d. I learn a lot from other students in the programme.
- e. I like the country/region.
- f. Others (_____)

7. If Kyoto University became one of the GLOCAL member universities, would you consider selecting the study track which includes Kyoto University?

- a. Yes → answer 8
- b. No → go to 9

8. Why would you select the study track with Kyoto? (You may select multiple answers.)

- a. I feel that Kyoto University would fit my research interests.
- b. I want to study outside Europe.
- c. I want to study in Japan.
- d. I want to study in Kyoto.
- e. Kyoto is a center of the creative industries.
- f. Kyoto has a unique economic strength with both traditional craft industries and modern high-tech industries.
- g. I want to work outside Europe after graduation.
- h. I want to work in Japan after graduation.
- i. Others (_____)

9. Why would you not select the study track with Kyoto? (You may select multiple answers.)
- a. I don't want to go outside Europe.
 - b. I'm worried about cultural differences and language issues.
 - c. The courses offered at Kyoto University would not fit my research or academic interests.
 - d. I'm worried about financial issues, such as tuition, living expenses, and travel.
 - e. Others ()

→ go to 10

10. Did you do any internship during your enrollment in GLOCAL?
- a. Yes → go to 11
 - b. No yet, but I am planning to do internship → go to 11
 - c. No, I have not done or do not have plan to do internship → go to 12

11. In what sector/industry and what kind of job did you, or do you plan to, engage in during your internship, and how long? (If you do not want to answer, you may leave it blank.)

- a. Company (Which sector/industry:)
- b. Government (Which government:)
- c. NGO (Which NGO:)
- d. International organization (Which organization:)
 (What kind of job:)
 (Length of Internship:)

→ go to 12

12. In which sector/industry and/or what kind of job do you want/plan to work in?

- a. Company (Which sector/industry?)
- b. Government (What kind of job?)
- c. International organization such as UN, etc.
 (Which organization?)
 (What kind of job?)
- d. Continue with my studies
- e. Other ()

13. What is your current situation regarding job searching?

- a. I'm currently on the job market. → go to 14
- b. I have already offered a job. → go to 15
- c. I have not started looking for a job. → go to 16

14. In which sector/industry and/or what kind of job are you applying for?

- a. Company (Which sector/industry?)

- b. Government (What kind of job?)
- c. International organizations such as UN, etc.
(Which organization?)
(What kind of job?)
→ go to 16

15. In which sector/industry and/or what kind of job have you been offered?

- a. Company (Which sector/industry?)
- b. Government (What kind of job?)
- c. International organizations such as UN
(Which organization?)
(What kind of job?)
→ go to 16

16. Any comments (ex. What would you like to achieve if you participate in the study track with Kyoto University? What do you expect from a program at Kyoto University?)



企業へのアンケート調査結果

1. 調査の趣旨

本専攻の構想に関する産業界の意見を把握するため、2019年8月から10月にかけて、本専攻のインターンシップ先や課程修了後の進路に関係し得る業種（グローバル展開をおこなう多国籍企業）を中心にアンケート調査を行った。

2. 調査の対象及び回答数

268社に対して2019年8月にアンケート調査票を郵送した。また、これと並行して本研究科教員が対面等によりのべ12社に対してアンケートを依頼し、10月中旬までに郵送・FAX・ウェブフォーム入力、手渡しにより計68社から回答を得た（回答率24.3%）。回答した企業の業種は以下の通りである。

製造業22社、金融業11社、コンサルティング業6社、流通業5社、エネルギー、マスコミ、保険業（各3社）、不動産業、商社、システム開発、教育・学習支援業、経済団体、公務（各2社）、運輸業、建設業、出版業（各1社）。

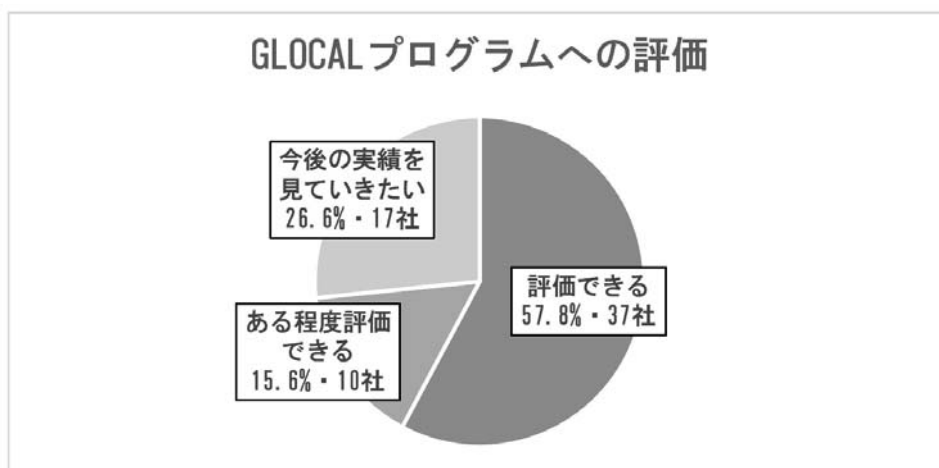
3. 調査の内容及び方法

本専攻の構想の概要を説明したうえで設問を記載した調査票（参考資料4）を用いて、アンケート用紙あるいはウェブフォームにより配布・回収した。

4. 調査結果

主要な設問について、回答データを示す。

- ・新専攻プログラムについてどのように評価されますか。

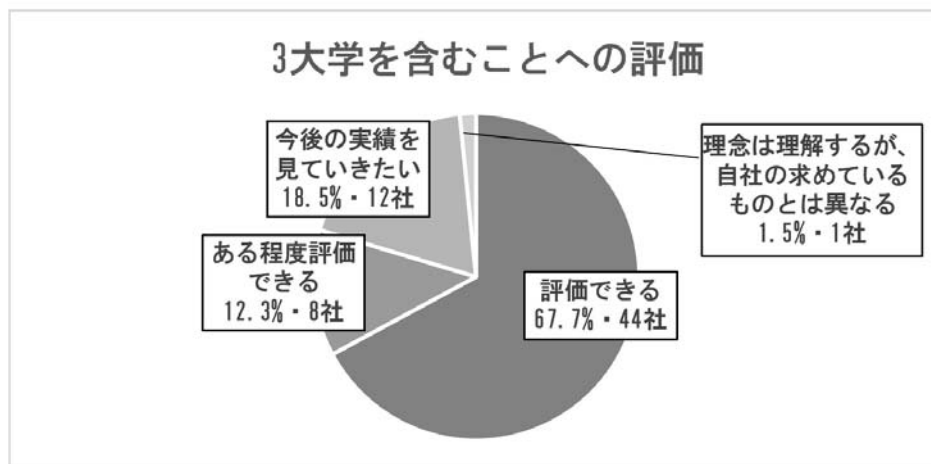


（参考資料4の設問1、設問回答者の母数64社、

- d. 「理念は理解するが、自社の求めているものとは異なる」の回答は0社）

「評価できる」と回答した企業の業種一覧：製造業10社、金融・証券業7社、コンサルティング業、エネルギー、保険業、流通業（各3社）、商社2社、運輸業、教育・学習支援業、マスコミ、出版業、建設業、公務（各1社）。

・本プログラムでは、学生は3つの異なる国・大学（スコットランド・グラスゴー大学、スペイン・バルセロナ大学、京都大学）で学び、これら3大学から共同学位を取得します。海外を含め3大学で学ぶことについてどのように評価されますか。

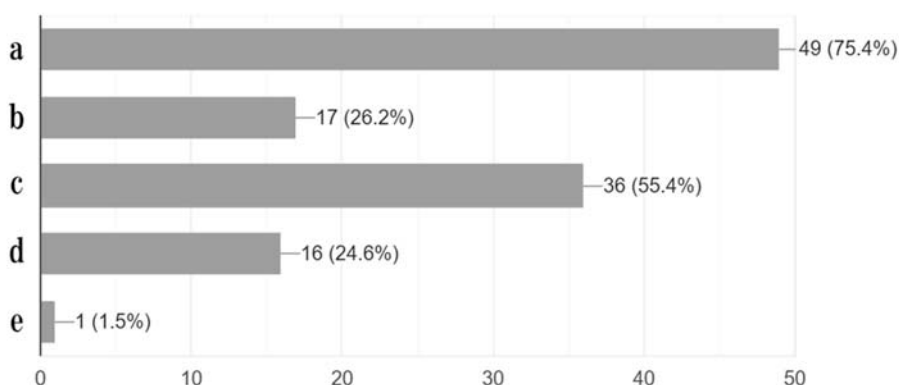


(参考資料4の設問2, 設問回答者の母数65社)

「評価できる」と回答した企業の業種一覧：製造業14社、金融・証券業7社、流通業4社、エネルギー、コンサルティング業、保険業（各3社）、商社、公務（各2社）、運輸業、教育・学習支援業、建設業、システム開発、マスコミ、出版業（各1社）。

・本プログラムの特徴として評価できるものはなんですか（複数回答可）。

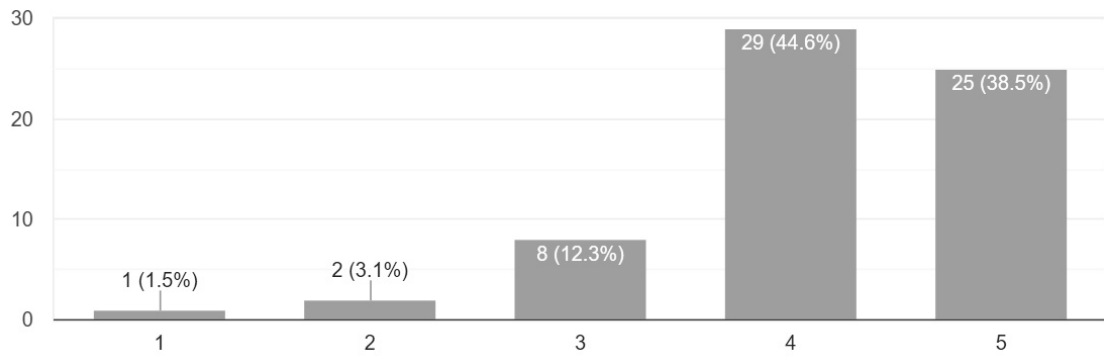
- a. 学生・人材が世界各国から集まること
- b. 京都大学がスタディ・トラックに含まれていること
- c. 日本・海外の3大学が共同で学生を教育し共同で修士号を授与すること
- d. 経営史や経営学、社会学などが基盤の学問領域となっていること
- e. その他



(参考資料4の設問3, 設問回答者の母数65社)

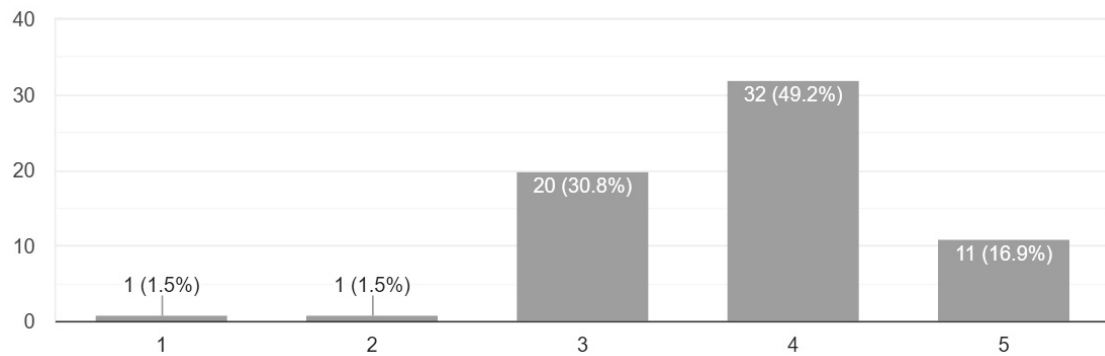
・本プログラムを修了した学生は世界で活躍することが期待されます。そのために身につけておくべき素養が大きく分けて下記のように5つあると考えています。貴社またはあなたにとって各要素がどの程度重要か1～5点で評価をしてください。（1点：重要性が低い，5点：重要性が高い）

社会的責任と研究倫理の自覚



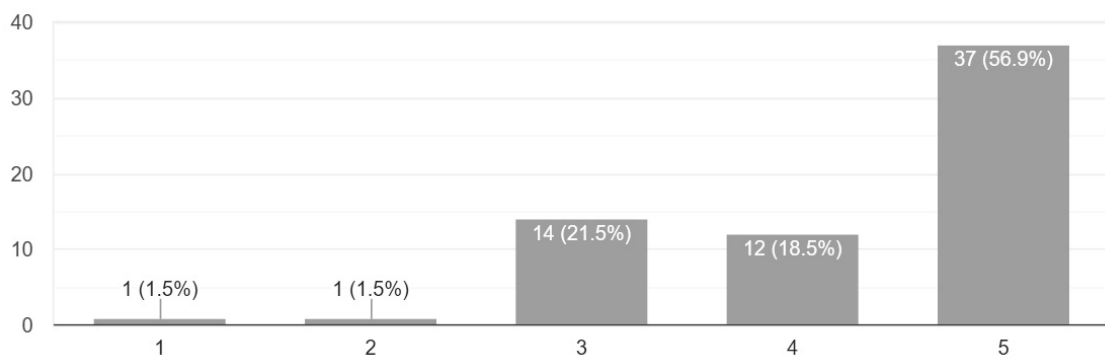
(参考資料 4 の設問 4a, 設問回答者の母数 65 社)

歴史的素養と経済学的知識



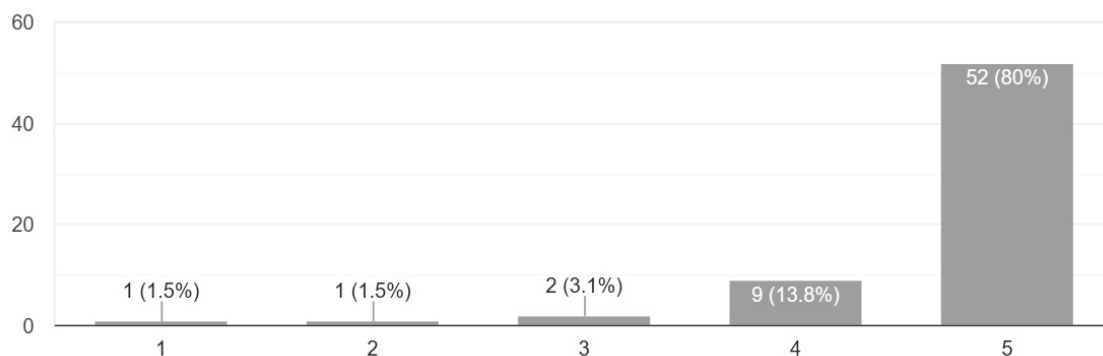
(参考資料 4 の設問 4b, 設問回答者の母数 65 社)

批判的な思考と分析力



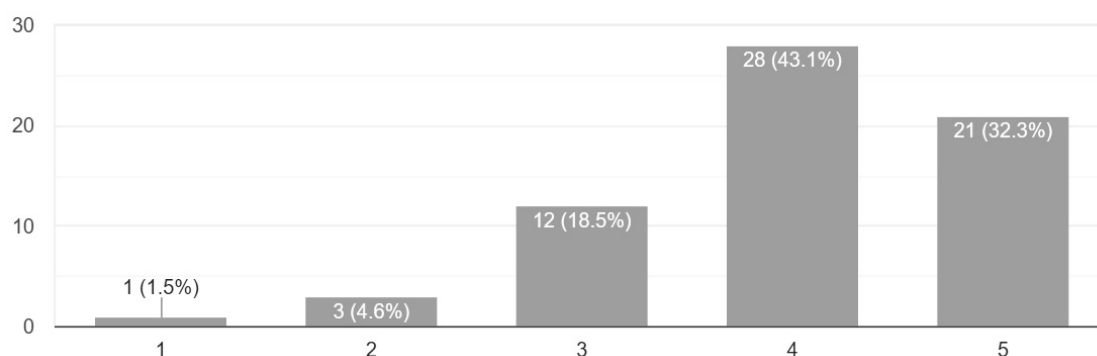
(参考資料 4 の設問 4c, 設問回答者の母数 65 社)

国際性とリーダーシップ



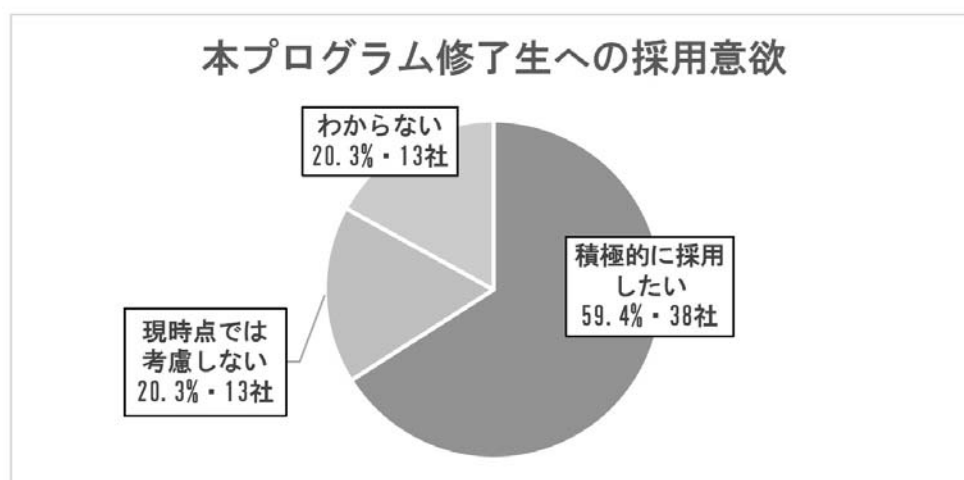
(参考資料 4 の設問 4d, 設問回答者の母数 65 社)

学術的および実践的英語力



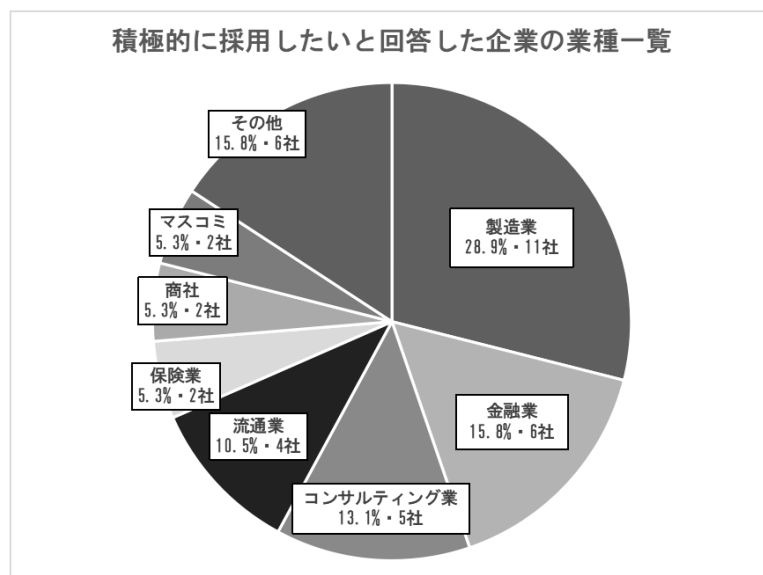
(参考資料 4 の設問 4e, 設問回答者の母数 65 社)

・本プログラムの修了生は国際的に活躍できる高度職業人となることが期待されます。本プログラムで育成した人材を貴社で採用したいとお考えですか。



(参考資料 4 の設問 5, 設問回答者の母数 64 社)

- ・上記設問において、「積極的に採用したい」と回答した企業の業種一覧
製造業 11社, 金融・証券業 6社, コンサルティング業 5社, 流通業 4社, 保険業, 商社, マスコミ (各2社), システム開発, 教育・学習支援業, 不動産業, 建設業, 経済団体, 公務 (各1社)



(回答者の母数 38社)



Graduate School of Economics / Faculty of Economics

KYOTO UNIVERSITY

Yoshida-honmachi, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501, Japan

新専攻設置アンケート調査へのご協力をお願い

京都大学大学院経済学研究科は、「グローバル人材」*の育成を目的とした新専攻（修士課程・国際連携グローバル経済・地域創造専攻）の設置申請のため、実業界での需要についてアンケート調査を行っております。

アンケート結果は匿名化され、企業名・部署名などは一切公表いたしません。

ご多用のところ大変恐縮ですが、新専攻計画説明資料（同封）をご高覧の上、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

*「グローバル人材」……社会科学的分析力と歴史的素養を兼ね備えた国際的ビジネスパーソン

令和元年 8 月吉日

京都大学大学院経済学研究科・経済学部

研究科長・学部長 江上 雅彦

○回答期限：2019 年 9 月 13 日（金）

○回答方法：以下のいずれかの方法でご回答ください。

1. 同封のアンケート票にご記入のうえ郵送（同封の封筒をご利用ください）。
2. 同封のアンケート票にご記入のうえ FAX にて送信。
3. Web アンケートフォーム（Google フォーム） へのご入力。

URL <https://forms.gle/CgJAtP8PQcTpSke96>

（右の QR コードをご利用ください）



○返送・お問い合わせ先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科 国際連携推進室（担当：田中彰・池田登貴子）

E-mail iao.econ@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

電話・FAX 075-753-3476

以上

FAX 送信先：(075) 753-3476

京都大学大学院経済学研究科 国際連携推進室 宛

京都大学経済学研究科 新専攻・企業アンケート

【社名】	【事業分野】
【部署・職階】	【連絡先（任意）】

- 新専攻プログラムについてどのように評価されますか。
 - 評価できる
 - ある程度評価できる
 - 今後の実績を見ていきたい
 - 理念は理解するが、自社の求めているものとは異なる
- 本プログラムでは、学生は3つの異なる国・大学（スコットランド・グラスゴー大学、スペイン・バルセロナ大学、京都大学）で学び、これら3大学から共同学位を取得します。海外を含め3大学で学ぶことについてどのように評価されますか。
 - 評価できる
 - ある程度評価できる
 - 今後の実績を見ていきたい
 - 理念は理解するが、自社の求めているものとは異なる
- 本プログラムの特徴として評価できるものはなんですか（複数回答可）。
 - 学生・人材が世界各国から集まること
 - 京都大学がスタディ・トラックに含まれていること
 - 日本・海外の3大学が共同で学生を教育し共同で修士号を授与すること
 - 経営史や経営学、社会学などが基盤の学問領域となっていること
 - その他（）
- 本プログラムを修了した学生は世界で活躍することが期待されます。そのために身につけておくべき素養が大きく分けて下記のように5つあると考えています。貴社またはあなたにとって各素養がどの程度重要か1～5点で評価をしてください。
 （1点：重要性が低い、5点：重要性が高い）
 - 社会的責任と研究倫理の自覚（1・2・3・4・5）
 - 歴史的素養と経済学的知識（1・2・3・4・5）
 - 批判的な思考と分析力（1・2・3・4・5）
 - 国際性とリーダーシップ（1・2・3・4・5）
 - 学術的および実践的英語力（1・2・3・4・5）

上記の他に、貴社が重要と思われる素養がございましたらお書きください。
 （）
- 本プログラムの修了生は国際的に活躍できる高度職業人となることが期待されます。本プログラムで育成した人材を貴社で採用したいとお考えですか。
 - 積極的に採用したい
 - 現時点では考慮しない
 - わからない
- その他、本プログラムについてのご意見・ご感想があればお書きください。
 （）